

# 未来への 遺産

VOL.63

## 千年余の眠りから 目覚めた太刀



めがね塚古墳の直刀 <御代田町有形文化財>

線矢川に臨む馬瀬口の台地上にめがね塚古墳がある。あたかもメガネのように2つ並んでいるが、本来は3基存在したといわれている。

めがね塚1号古墳は、町内でも最大規模を有する古墳で、その石室の規模は、3.5m×2.3m、中からは平成8・9年の発掘調査によって、大小の刀や馬具・金環・玉類・人骨などが出土した。人骨は、数体分が確認され、同族だろうか、何人かの合葬がなされたようである。

出土した刀は、直刀と呼ばれる反りのない刀で、太刀呼ばれる長大な刀1と小刀3の組み合わせ、副葬品としたものである。それぞれの刀は、刃渡り92・41・37・30cmで、とくに92cmのものは、佐久地方でもっとも長い刀のひとつである。馬具1点は、欠損のない良好なものであった。

町内に現存する古墳は少なく、加えて良好な直刀や馬具が少ないため重要で、古墳は現地保存され、刀はサビが進行しないよう保存処理がなされて、現在博物館で大切に保管されている。

この大きな刀を所有した人物は、当時の小沼郷を治めた首長クラスの人物であったとみられるが、具体的な人物像は謎のままである。



めがね塚古墳の石室

### 図説 “御代田の美と伝統”

■浅間山麓未来への遺産が一冊の本になりました! ■カラー 144頁 頒価 2000円 博物館窓口で販売中です

御代田町の人口(6月1日現在)

●人口 14,287人(先月比+2) 男 7,157人 女 7,130人  
●世帯数 5,559世帯(先月比+5) ●外国人登録者数 782人

みよた広報 やまゆり ●発行/御代田町 〒389-0292 長野県北佐久郡御代田町大字御代田2464-2 ☎0267-32-3111